

【2 竹田市 Taketa City】



くじゅう連山の久住山から

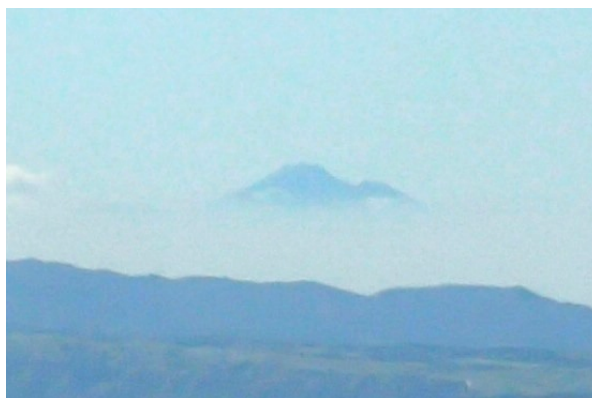
竹田市では、北部にそびえるくじゅう連山（九州島最高峰の中岳、久住山、星生山、三俣山、大船山、平治岳など）から、阿蘇の北外輪山越しに“北東面の雲仙岳”が眺望できます。また、市の南部にそびえる祖母山からは、阿蘇の南外輪山越しに“東面の雲仙岳”が眺望できます。これらの山々からは、阿蘇の中央火口丘も眺望できるため、阿蘇山と雲仙岳の間の歴史的な大三角形（※阿蘇地域のページ参照）を視覚的にイメージすることが可能です。

九州を横断する火山の列は、くじゅう連山から西の方へ阿蘇山、金峰山、雲仙岳へと、概ね一直線上に並びますが、江戸時代の街道はこれらの山々の麓をつなぐように通っていました。肥後熊本藩が開いた豊後街道は、大分市から本市を通過して、阿蘇カルデラを経て熊本市に至る街道で、幕末に勝海舟・坂本龍馬の一行が江戸から長崎に出張した際には、この豊後街道を通り、有明海を渡って雲仙岳山麓の街道を通り、長崎に到達したとされています。くじゅう連山と阿蘇山、雲仙岳は、昭和9年に国立公園（現名称：阿蘇くじゅう、雲仙天草）として指定され、平成26年にはともに80周年を迎えています。

また本市では、九州各県をネックレスのようにつないで一周するトレイル“九州自然歩道”が縦断しており、くじゅう連山から祖母山を経て、遙か雲仙岳まで、トレイルは続いています。くじゅう連山の区間では、久住山や大船山、三俣山など山々の間を縫うように通りますが、各山頂に足をのぼして雲仙岳が眺望できれば、九州島のスケールを体感しながらトレイルを楽しめることでしょう。

雲仙岳の様々な表情を探しながら、竹田市内を旅してみませんか？

●竹田市の観光情報はこちら ⇒ 竹田市観光ツーリズム協会 <http://www.taketan.jp/>



久住山から（平成新山と国見岳）